

作り手の現場から

建築設計事務所とは？

「鈴木恂+AMS Architects」に潜入！

お話し：内木 博喜



建築設計事務所の働き方について

私たちの事務所「鈴木恂+AMS Architects」は、建築家・鈴木恂先生を中心に常時4〜5人程度の設計スタッフで働いています。それは設計が進行している全ての物件(建築)の内容を全員で把握できる程度の人数を維持するということですが、大きな規模の設計監理をしている時は10人以上のスタッフがいた時期もありました。

設計する建物の種類は依頼があれば幅広く対応しています。住宅作品や別荘のほか、早稲田大学西早稲田キャンパス内の稲田キャンパス内のいくつかの施設をはじめ、官民の学校や研

修施設等を含む教育関係施設の設計監理などにも携わってききました。

その時々々の仕事量によりですが、普段は月曜から金曜までの週5日を基本勤務として、現場や打合せがある時以外は午前10時から午後7時〜8時頃まではアトリエ(事務所)で働いています。昔は官庁物件などを担当している時には締切りなども重なり、かなりハードに仕事ばかりしていた時期もありました。若さもありませんでしたが、アトリエで寝袋に入り、事務所のコンクリートの梁を眺めながら目覚めていたこともありましたね。

個人の建築設計事務所(アトリエ系設計事務所)と大きな組織系設計事務所の違いとは??

アトリエ系設計事務所は個人がやっている組織だから、所長さんの個性や建築に対する考え方が完全に反映されるんですよ。でも、組織系というのは大きな組織の中での建築の価値基準みたいなものをつくっているんで、性能面でも意匠面でもひとつの組織の色みたいなものがあります。あと、最近の大きな建築の仕事というのは、リスクの観点から組織系設計事務所に依頼されることが多くなったと思います。コンペでも、実際の設計経験がとても重視されたりするので、大きな建物のコンペでは大きな建物の設計経験が何件以上ないといけないとかあるんです。なので小さな個人事務所は応募も難しかったりもするんですよ。

私たちの事務所名になっている「AMS」は「am's」ともかきますが、すなわち我々のアトリエは「am=個人」の「集合体=s」であると考えています。一人ひとりの思考や個性の積み重ねによって建築を生み出していくという役割を担っているのだと思います。

KENCHIKU SOUKO SHINBUN

建築倉庫新聞

ARCHI-DEPOT NEWS PAPER

令和四年度発行

第三号

刊行



*3 鈴木恂+AMS Architects 事務所模型 / 建築模型

設計プロセスで大切なこと

スタート時点では「施主との会話」を最も大切にしています。そこから捉えられる建築的な可能性だけでなく、「時間軸の中で最も大切にすべきこと」は何か「それを模索しながら設計が進行していきま

もちろん、変化しない強さをもつことで生き残る建築もあると思います。建築家によっても、考え方はちがうんですよ。それは何が正解とかじゃなく、建築は百人いたら、百が使われたら、それが「生命」なので、使われだしていく中で、お施主さんの要望が新しくどう発生してくるかとか、増築されたり、いろいろ変化していくことを予測しながら設計を考えます。

過去に携わったGAギャラリーの設計では、鈴木恂先生は「この建築は未完成である」という意識をもって設計をしていました。空洞性そのものが、その建築の象徴的な姿ということまで意識するかってこと

を大事にしています。

自分が何を学び取り、何を生み出すか? その方向性を見つけて出すことが建築学生にとっては重要だと思います。

身体を通して空間を記憶する「スケーリング」

設計のイメージの源は、常に自分自身の中にある空間感覚とその記憶が出发点であり、できるだけ多くの実物(建築作品)と出会い、その記憶の蓄積をすることが非常に大切だと思っています。

旅先で新たに建築や空間と出会い、それを記憶として残す場合には、スケール感が非常に重要な要素となりますが、その際に単に寸法を測りますが、ジャーなどで測って記録するのはなく、自分の体感を通して記録することを大事にしています。

それは、自分の身体で空間のスケールを感じて、部分と全体の尺度の関係を捉えていく(スケーリング)ということです。スケーリングの方向性は、歩測(歩数)だったり、

建築家がイメージを展開する際には、必ずスケール感が関わってきますから、「スケール感」を自分の中に感じることが重要だと思います。私たちは「スケーリング」を通してその感覚を蓄積し、次の設計に活かしているんです。



スケッチと建築模型

検討の初期段階では、住宅などの場合は1/200のスケールでフリーハンドのスケッチから案を考え始め、検討します。その中から選択したいくつかの案を1/100のスケールで図面化し、その段階でエスキース模型*1をつくり始めます。この段階の模型は、かなりラフですが素早くつくり、人に見せるというよりは、案を展開し空間を発見するために制作します。



*1 エスキース模型 1/100 (ステンレボード、粘土)

その後さらに案が展開し、案が1つに絞り込まれてくると1/50のスケールで模型*2の制作を開始します。最近ではステンレボードで模型をつくるのが多くなっていますが、昔はほとんどバルサやヒノキなどの木を使って模型*3を作っていました。特に開放しコンクリートの建築の場合には、バルサの方が内部空間も含めイメージをより展開しやすいこともあります。また内部空間の把握をしたい時などは、ダンボールなどのラフな材料を使って1/20のスケールで模型を作ったりすることもあります。また、コンペ案なども含め、空間の骨格となるイメージの残像をしっかりと記憶として残すために、木の無垢*3を使って模型を制作することも多くあります。



*2 エスキース模型 1/50 (ステンレボード)

過去展覧会 PAST EXHIBITION

WANDERING WONDER

2019.5.22 WED - 9.1 SUN

建築模型から見る新しい学びの場、育ちの場

7/20 - 10/14

構造展

構造家のデザインと思考

建築模型展

-文化と思考の変遷-

4/28 - 10/16

怪奇眼 おわらない模型作り

第三回 建築4コマ漫画

模型完成まであと少し!

や・り・な・お・し

作 こんみ

建築学生もっくの学び



アートを楽しむ 天王洲散策コース

天王洲アイル駅

PIGMENT TOKYO

WHAT MUSEUM

WHAT CAFE

TERRADA ART COMPLEX

品川駅

建築模型ニュース

日本最大の卒業設計の大会

「せんだいデザインリーグ卒業設計 日本一決定戦」日本一、受賞者発表!

全国の建築デザインや、都市計画などを学ぶ学生の卒業設計作品を集め、審査によって「日本一」を決める大会「せんだいデザインリーグ卒業設計日本一決定戦」。今年もせんだいメディアテークで開催された。審査委員長は塚本由晴が務めました。オンライン公開審査を通じて、晴れて日本一に輝いたのは明治大学建築学科・門脇研究室所属の土居 亮太による「建築家のパロクス-制御不能な野性の面影-」。今年も学生の白熱した闘いに注目が集まった。



現代アートと建築文化を紹介するミュージアム。寺田倉庫が作家やコレクターからお預かりしている貴重なアート作品を作家の思いはもちろん、作品を収集するコレクターのこだわりとともに展示。多様な芸術文化を倉庫会社ならではの美術館のかたちとして、新たな切り口で企画・展示を行っています。隣接する模型保管庫では、建築模型を保管し、一部公開しています。



日本のアート業界の未来を担うアーティストによる現代アート作品を展示・販売するアートギャラリーカフェ。数多くのアーティストに作品披露、販売の機会を創出、また来訪者には常に新しいアートと出会う場を提供します。カフェスペースでは、アートに囲まれながらお食事やお飲み物を楽しむことができます。



「色とマチエールの表現」を追求するショップ・ラボ・ワークショップを備えた絵画材料専門の複合クリエイティブ施設。4,500色にも及ぶ顔料をはじめ、希少価値の高い硯や墨、600種を超える絵筆や刷毛、オリジナルの膠や和紙、西洋の伝統絵画技法に用いる道具や材料、その他入手困難な画材の販売も行って。またワークショップや企業向けのレクチャー、コラボレーションを行っております。

抽選でプレゼント!!

WHAT MUSEUM 展覧会ペアチケット

建築倉庫の活動について、アンケート調査を実施しております。アンケートにご協力くださいました方の中から、毎月抽選で 5組 10名様に WHAT MUSEUMの展覧会チケットをプレゼントいたします。

※QRコードをスキャンしていただくと、アンケートページにアクセスできます。

アンケート

2マスすすむ

新型ウイルス蔓延の影響で建築資材が届かない。工事がストップ...

1回やすみ...

家の周囲を彩る植物を植える。成長が楽しみ。

暑い日が続く。大工さんたちに差し入れをする。

設計図通りに建てられているか、建築家が工事の状況を監視してくれる。安心してお任せ!

地鎮祭で安全祈願をする!

Let's continue.

竣工!家ができあがる。新しい暮らしが始まる!

~暮らしながら、家の管理は続いていく。建築家との関係も続いていく~

2マスすすむ

お家が出来るまで すご3く VOLUME 3

お家が出来るまでの流れを3号に渡ってご紹介! 家作りを一緒に楽しもう!

建築家と建てる家づくり! いよいよ工事がスタート!